

uCosminexus DocumentBroker Version 5
メッセージ

操作書

3021-3-405

対象製品

R-1595F-13 uCosminexus DocumentBroker Platform Version 5 05-00 (適用 OS : Windows Server 2008 R2)
R-1L95F-13 uCosminexus DocumentBroker Platform Version 5 05-00 (適用 OS : Red Hat Enterprise Linux 6 (x86_64))
R-1595F-43 uCosminexus DocumentBroker Developer Version 5 05-00 (適用 OS : Windows Server 2008 R2 , Windows 7 (x86) , Windows 7 (x64))
R-1595F-53 uCosminexus DocumentBroker Runtime Library Version 5 05-00 (適用 OS : Windows Server 2008 R2 , Windows 7 (x86) , Windows 7 (x64))
R-1L95F-53 uCosminexus DocumentBroker Runtime Library Version 5 05-00 (適用 OS : Red Hat Enterprise Linux 6 (x86_64))

印の適用 OS については、サポート時期をご確認ください。

輸出時の注意

本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制並びに米国輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

なお、不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

商標類

Active Directory は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Linux は、Linus Torvalds 氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。

Microsoft は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

UNIX は、The Open Group の米国ならびに他の国における登録商標です。

Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Microsoft および Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

マイクロソフト製品の表記について

このマニュアルでは、マイクロソフト製品の名称を次のように表記しています。

製品名称	略称	
Microsoft(R) Windows 7 Professional 日本語版 (32 ビット版)	Windows 7	Windows
Microsoft(R) Windows 7 Enterprise 日本語版 (32 ビット版)		
Microsoft(R) Windows 7 Ultimate 日本語版 (32 ビット版)		
Microsoft(R) Windows 7 Professional 日本語版 (64 ビット版)		
Microsoft(R) Windows 7 Enterprise 日本語版 (64 ビット版)		
Microsoft(R) Windows 7 Ultimate 日本語版 (64 ビット版)		
Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2 Enterprise 日本語版	Windows Server 2008 R2	
Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2 Standard 日本語版		

発行

2012 年 9 月 3021-3-405

著作権

All Rights Reserved. Copyright (C) 2012 Hitachi, Ltd.

All Rights Reserved. Copyright (C) 2012, Hitachi Solutions, Ltd.

はじめに

このマニュアルは、次に示すプログラムプロダクトが出力するメッセージについて説明したものです。

- R-1595F-13 uCosminexus DocumentBroker Platform Version 5
- R-1L95F-13 uCosminexus DocumentBroker Platform Version 5
- R-1595F-43 uCosminexus DocumentBroker Developer Version 5
- R-1595F-53 uCosminexus DocumentBroker Runtime Library Version 5
- R-1L95F-53 uCosminexus DocumentBroker Runtime Library Version 5

対象読者

このマニュアルは、次の方を対象にしています。

- uCosminexus DocumentBroker の環境を管理および運用する方
- uCosminexus DocumentBroker Developer で提供するクラスライブラリを利用して、クライアントアプリケーションを開発する方
- uCosminexus DocumentBroker Developer で開発したクライアントアプリケーションを実行する方

なお、このマニュアルでは、上記の方が次の知識を持っていることを前提としています。

- Windows または UNIX に関する知識
- SQL 言語に関する知識
- 分散オブジェクト技術に関する知識

マニュアルの構成

このマニュアルは、次に示す章から構成されています。

第 1 章 メッセージの概要

uCosminexus DocumentBroker が出力するメッセージの出力先、出力形式およびこのマニュアルでのメッセージの記述形式について説明しています。

第 2 章 メッセージ

uCosminexus DocumentBroker の各機能に共通するメッセージについて説明しています。

第 3 章 edmSQL のメッセージ

edmSQL の構文解析エラー情報として出力される内容と、その対処方法について説明しています。

付録 A このマニュアルの参考情報

関連マニュアル、このマニュアルで使用している略語の意味などを説明しています。

このマニュアルで使用する記号

このマニュアルで使用する記号を次に示します。

記号	意味
	横に並べられた複数の項目に対する項目間の区切りを示し、「または」を意味します。 (例) A B A または B を指定することを示します。
[]	この記号で囲まれている項目は省略してもよいことを示します。複数の項目が横に並べて記述されている場合には、すべてを省略するか、どれか一つを選択します。 (例 1) [A] 「何も指定しない」か「A を指定する」ことを示します。 (例 2) [B C] 「何も指定しない」か「B または C を指定する」ことを示します。

記号	意味
:	: の左にあるものを右にあるもので定義することを示します。 (例) A:B 「AとはBである」と定義することを示します。

このマニュアルで使用する構文要素

このマニュアルで使用する構文要素の種類を次に示します。

種類	定義
英字	A ~ Z a ~ z
英小文字	a ~ z
英大文字	A ~ Z
数字	0 ~ 9
英数字	A ~ Z a ~ z 0 ~ 9
記号	! " # \$ % & ' () + , _ . / : ; < = > @ [] ^ - { } タブ 空白

注 すべて半角文字を使用してください。

目次

1	メッセージの概要	1
1.1	メッセージの出力先	2
1.2	メッセージの出力形式	3
1.3	メッセージの記述形式	4
2	メッセージ	5
2.1	メッセージ一覧	6
3	edmSQL のメッセージ	57
3.1	edmSQL の構文解析エラー情報	58
3.1.1	記述形式	58
3.1.2	構文解析エラー	58
3.1.3	字句解析エラー	58
3.1.4	意味解析エラー	60
3.1.5	そのほかのエラー	74
付録		77
付録 A	このマニュアルの参考情報	78
付録 A.1	関連マニュアル	78
付録 A.2	このマニュアルでの表記	78
付録 A.3	DocumentBroker のマニュアルで使用する略語	79
付録 A.4	KB (キロバイト) などの単位表記について	79
索引		81

1

メッセージの概要

この章では、DocumentBroker が出力するメッセージの出力先、出力形式およびこのマニュアルでのメッセージの記述形式について説明します。

1.1 メッセージの出力先

1.2 メッセージの出力形式

1.3 メッセージの記述形式

1.1 メッセージの出力先

DocumentBroker が出力するメッセージの出力先を次に示します。

(1) 標準エラー出力またはコマンドプロンプト

標準エラー出力 (UNIX の場合) またはコマンドプロンプト (Windows の場合) には、コマンドが実行中であることを示すメッセージが出力されます。

なお、このマニュアルでは、メッセージの出力先に関する記述は、UNIX を標準 OS としています。したがって、Windows をお使いの場合は、標準出力をコマンドプロンプトと読み替えてください。

(2) トレースファイル

トレースファイルには、詳細エラーログファイルに出力されるメッセージ以外のすべてのメッセージが出力されます。このため、標準出力 (UNIX の場合) またはコマンドプロンプト (Windows の場合) にメッセージが出力された場合、同一内容のメッセージがトレースファイルにも出力されます。

1.2 メッセージの出力形式

DocumentBroker が出力するメッセージの出力形式を次に示します。

- (1) 標準出力, コマンドプロンプト, 詳細エラーログファイルおよびトレースファイルに出力されるメッセージの出力形式

標準出力 (UNIX の場合), コマンドプロンプト (Windows の場合), メッセージログファイルおよびトレースファイルに出力されるメッセージの出力形式を次に示します。

"メッセージ ID メッセージテキスト"

1.3 メッセージの記述形式

このマニュアルでのメッセージの記述形式を次に示します。

KMBJnnnnn-i

英語のメッセージテキスト

補足説明

(S)

DocumentBroker の動作

(O)

ユーザが実施する対策

KMBJ

メッセージを出力したプログラム (DocumentBroker) を表します。

nnnnn

メッセージの番号です。それぞれのメッセージに 5 けたの固有の番号が付いています。

i

メッセージの種類を表します。

I : システムの動作を通知します。

W : 処理は続行しますが、障害が発生したので警告します。

E : 障害が発生したので、処理を中止します。

メッセージテキスト

DocumentBroker から出力されるメッセージテキストを示します。メッセージテキストに表示される %n (n は挿入句の順番) は、メッセージが出力される状況によって変わる値です。なお、メッセージによっては、英語のメッセージテキストが出力されないものもあります。

補足説明

メッセージテキストに対する補足説明を示します。メッセージによっては記述しないものもあります。

(S)

DocumentBroker の動作または処理を示します。

(O)

ユーザが実施する対策を示します。

2

メッセージ

この章では、DocumentBroker の各機能に共通するメッセージについて説明します。

2.1 メッセージ一覧

2.1 メッセージ一覧

KMBJ00001-E

The specified operation is not supported by the specified object, Try out the operation with the appropriate object type.

- (S)
指定したオブジェクトに対する操作はサポートされていません。
- (O)
オブジェクトの型を見直して、再実行してください。

KMBJ00002-E

An Internal Error has occurred, contact the System Administrator.

- (S)
内部エラーが発生しました。
- (O)
システム管理者に連絡してください。

KMBJ00003-E

The specified operation cannot be carried out since the system is running out of memory, Contact System Administrator.

- (S)
メモリが不足しているため、指定された操作を実行できません。
- (O)
メモリを増設するか、メモリを大量に消費しているアプリケーションを終了して、利用できるメモリを増やしてから、処理を再実行してください。

KMBJ00004-E

The User has not logged in, login and try again.

- (S)
ログインされていません。
- (O)
ログインしてから、操作を実行してください。

KMBJ00005-E

The Session got disconnected, try again after reconnecting.

- (S)
セッションが切断されています。
- (O)

再接続して、再実行してください。

KMBJ00006-E

A Data Base time out has occurred, SQL CODE: %1, SQL STATE: %2. Perform the operation again.

- (S) データベースでタイムアウトが発生しました。
- (O) 再実行してください。

KMBJ00007-E

A dead lock has occurred SQLCODE: % 1 , SQLSTATE; %2. Contact the System Administrator.

- (S) データベースでデッドロックが発生しました。
- (O) システム管理者に連絡してください。

KMBJ00008-E

The Session is not connected. Try after Connecting.

- (S) セッションが接続されていません。
- (O) 接続してから、再実行してください。

KMBJ00010-E

The specified object is invalid, Try out the operation with the appropriate object type.

- (S) 指定されたオブジェクトは、サポートされていない型のオブジェクトです。
- (O) 適切な型のオブジェクトを指定して、再実行してください。

KMBJ00012-E

Specified Document space Id does not exist. Specify a valid value..

- (S) ログイン時に指定された文書空間識別子は、存在しません。
- (O) 有効な文書空間識別子を指定してください。

KMBJ00013-E

Specified Document space Id is null. Specify a valid value.

- (S) ログイン時に文書空間識別子が指定されていません。
- (O) 有効な文書空間識別子を指定してください。

KMBJ00014-E

Specified User Name is null. Specify a valid value.

- (S) ログイン時にユーザ名が指定されていません。
- (O) 有効なユーザ名を指定してください。

KMBJ00015-E

Specified Password is null. Specify a valid value.

- (S) ログイン時にパスワードが指定されていません。
- (O) 正しいパスワードを指定してください。

KMBJ00016-E

Login failed for the user: %1. Invalid Login parameters. Enter correct values.

- (S) 指定ユーザは認証されませんでした。
- (O) 有効なユーザ名とパスワードを指定してください。

KMBJ00017-E

Access control function is not supported. Contact System Administrator.

- (S) アクセス制御機能がサポートされていません。
- (O) この操作は、実行できません。

KMBJ00018-E

The sequence in which one method follows another is invalid. Use methods in valid sequence.

(S)

メソッドの実行順序が不正です。

- トランザクションが開始されていない状態でトランザクションを有効又は無効にしようとした。
- トランザクション処理中に、ほかのトランザクションを開始しようとした。

(O)

この操作は、実行できません。

KMBJ00019-E

The Relation Type specified is invalid. Specify proper Relation type.

(S)

DbjObj#getRelList メソッドで指定されたリレーションタイプが不正です。

(O)

正しいリレーションタイプを指定してください。

KMBJ00020-E

The Relation status specified is invalid. Specify proper Relation state.

(S)

DbjObj#getRelList メソッドで指定されたリレーションステータスが不正です。

(O)

正しいリレーションステータスを指定してください。

KMBJ00021-E

No access right to carry out the specified operation. Contact System Administrator.

(S)

指定された操作を実行する権限がありません。

(O)

アクセス制御情報のパーミッションを変更して、再実行してください。

KMBJ00022-E

The Object used in this operation is already deleted. Specify a valid object.

(S)

この操作で使用するオブジェクトは、既に削除されています。

(O)

存在するオブジェクトを指定して、再実行してください。

KMBJ00023-E

Invalid Lock Type. Specify proper lock type.

(S)

2. メッセージ

指定されたロックの種類が不正です。

(O)

正しい種類のロックを指定してください。

KMBJ00024-E

Invalid Property Identifier. Specify proper Identifier value.

(S)

不正なプロパティ識別子が含まれています。

(O)

プロパティ識別子を見直して、再実行してください。

KMBJ00025-E

The Requested Elements not found. Specify valid objects.

(S)

要求された要素が見つかりません。

(O)

存在するオブジェクトを指定してください。

KMBJ00026-E

Invalid session status. Contact System Administrator.

(S)

セッションの状態が不正です。

(O)

一つのセッションに対して1度に一つの処理要求しか出さないように見直してください。

KMBJ00027-E

OIID is not Set. Set proper value for OIID.

(S)

OIID が設定されていません。

(O)

正しい OIID を設定してください。

KMBJ00028-E

An Unexpected Error has occurred. Contact the System Administrator.

(S)

予期しないエラーが発生しました。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KMBJ00029-E

Argument No %1 is not a valid one. Specify a valid argument.

- (S) 引数 %1 が不正です。
- (O) 有効な引数を指定してください。

KMBJ00030-E

Data Base Error has occurred. Contact the System Administrator. SQLCODE: %1, SQLSTATE: %2.

- (S) データベースでエラーが発生したため操作を実行できません。
- (O) システム管理者に連絡してください。

KMBJ00031-E

Invalid Class Id. Specify valid value for Class Id.

- (S) 指定されたクラス識別子が不正です。
- (O) 有効なクラス識別子を指定してください。

KMBJ00032-E

Invalid OIID. Specify valid value for OIID.

- (S) 指定された OIID が不正です。
- (O) 有効な OIID を指定してください。

KMBJ00033-E

Invoked server operation with invalid parameter.

- (S) 不正なパラメタでサーバを操作しました。
- (O) 内部エラーが発生しました。システム管理者に連絡してください。

KMBJ00034-E

This operation is not supported in this session. Contact System Administrator.

2. メッセージ

(S)

このセッションでは、この操作はサポートされていません。

(O)

指定された操作は、実行できません。

KMBJ00035-E

No access to the specified operation. Contact System Administrator.

(S)

指定された操作に対するアクセス権がありません。

(O)

アクセス権を変更して、再実行してください。

KMBJ00036-E

Specified public ACL does not exist. Specify a valid value.

(S)

指定されたパブリック ACL は、存在しません。

(O)

存在するパブリック ACL を指定してください。

KMBJ00037-E

Unbound public ACL. Specify bound public ACL.

(S)

指定されたパブリック ACL は、指定されたオブジェクトにバインドされていません。

(O)

バインドされているパブリック ACL を指定して、再実行してください。

KMBJ00038-E

Reached the maximum value of rendition count. Contact System Administrator.

(S)

保持できるレンディション数の上限に達しました。

(O)

不要なレンディションを削除して、新しいレンディションを追加してください。

KMBJ00039-E

Master Rendition is not Set. Set the value and carry out the operation.

(S)

マスタレンディションの値が設定されていません。

(O)

操作を実行する前に、マスタレンディションの値を設定してください。

KMBJ00040-E

Specified Rendition type already exists.

- (S) 指定されたレンディションは既に存在しています。
- (O) 存在しないレンディションタイプのレンディションを指定してください。

KMBJ00041-E

Operation cannot be carried out on master rendition. Specify another value.

- (S) この操作は、マスタレンディションに対して実行できません。
- (O) サブレンディションを指定して、再実行してください。

KMBJ00042-E

Contents not updated. Contact System Administrator.

- (S) コンテンツが更新されていません。
- (O) コンテンツを更新して、再実行してください。

KMBJ00043-E

Non existing Rendition type. Specify a valid value.

- (S) 指定されたレンディションタイプは、存在しません。
- (O) 存在するレンディションを指定して、再実行してください。

KMBJ00044-E

Version identifier is not reserved.

- (S) バージョン識別子が予約されていないため、指定された操作は実行できません。
- (O) チェックイン時に割り当てられた正しいバージョン識別子を設定して、再実行してください。

KMBJ00045-E

No Access permission. Contact System Administrator.

(S)

指定された操作を実行するためのパーミッションがありません。

(O)

パーミッションを見直して、再実行してください。

KMBJ00046-E

Invalid Access Control Element. Specify valid value.

(S)

指定されたアクセス制御エレメントが不正です。

(O)

有効なアクセス制御エレメントを指定して、再実行してください。

KMBJ00047-E

Invalid subject classification. Specify valid value.

(S)

指定されたサブジェクト種別が不正です。

(O)

有効なサブジェクト種別を指定して、再実行してください。

KMBJ00048-E

Reached the maximum value of Access Control Element count. Contact System Administrator.

(S)

アクセス制御エレメントの個数の上限に達しています。

(O)

アクセス制御エレメントは、64 個までにしてください。

KMBJ00049-E

Reached the maximum length for subject. Contact System Administrator.

(S)

サブジェクトの長さが許容範囲を超えています。

(O)

サブジェクトの長さは、1 ~ 254 文字の範囲にしてください。

KMBJ00050-E

Reached the maximum value for public ACL to be bound. Contact System Administrator.

(S)
バインドするパブリック ACL の個数の上限を超えています。

(O)
バインドするパブリック ACL の個数は、10 個までにしてください。

KMBJ00051-E

Cannot delete last Version Identifier.

(S)
指定されたバージョンは唯一のバージョンであるため、削除できません。

(O)
この操作は、実行できません。

KMBJ00052-E

Session still valid .No need to login again.

(S)
既にログインしています。

(O)
セッションは有効です。再度ログインする必要はありません。

KMBJ00053-E

Specified argument %1 is null. Provide valid value.

(S)
指定された引数 %1 が null です。

(O)
有効な値を指定してください。

KMBJ00054-E

Error occurred while logging out. Contact System Administrator.

(S)
ログアウト中にエラーが発生しました。

(O)
システム管理者に連絡してください。

KMBJ00055-E

Error occurred while checking session status. Contact System Administrator.

(S)
セッションの状態をチェック中にエラーが発生しました。

(O)

2. メッセージ

システム管理者に連絡してください。

KMBJ00056-E

Invalid Object type %1. Specify valid value.

- (S)
指定されたオブジェクトの型が不正です。%1
- (O)
有効なオブジェクトの型を指定して、再実行してください。

KMBJ00057-E

Invalid Index. Specify valid value.

- (S)
指定されたインデックスが不正です。
- (O)
有効なインデックスを指定してください。

KMBJ00058-E

The specified Property %1 is not found. Specify a valid Property value.

- (S)
指定されたプロパティ %1 が見つかりません。
- (O)
存在するプロパティを指定して、再実行してください。

KMBJ00059-E

File %1 not Found. Specify a valid path / file.

- (S)
指定されたファイル %1 が見つかりません。
- (O)
存在するファイルを指定してください。

KMBJ00060-E

Invalid Link Type. Specify valid link type.

- (S)
指定されたリンクタイプが不正です。
- (O)
有効なリンクタイプを指定してください。

KMBJ00061-E

No Access permission for the requested file. Contact System Administrator.

(S)

要求されたファイルに対してアクセス権がありません。

(O)

アクセス権を見直して、再実行してください。

KMBJ00062-E

The specified class name %1 is not found. Specify valid class name.

(S)

指定されたクラス名 %1 が見付かりません。

(O)

有効なクラス名を指定して、再実行してください。

KMBJ00068-E

Invalid File status. Conversion process is to be done on the file.

(S)

指定されたファイルの内容は変換処理されていないため、空の状態です。

(O)

変換処理を実行して、空の状態を回避してください。

KMBJ00069-E

Improper contents in the XML file. Error occurred during the XML file syntax analysis process.

(S)

XML の構文解析でエラーが発生しました。

(O)

XML ファイルの内容を確認してください。

KMBJ00070-E

The parameters Class Name and/or Property Set values are invalid. Specify proper values.

(S)

パラメタのクラス名又はプロパティの組み合わせが不正です。

(O)

有効なクラス名とプロパティの組み合わせを指定してください。

KMBJ00071-E

Properties with @ Mark are specified.

2. メッセージ

(S)

@ を付けたプロパティが、バージョン付きオブジェクトに対して指定されています。

(O)

@ を付けたプロパティを、バージョン付きオブジェクトに対して指定しないでください。

KMBJ00072-E

Unsupported URL protocol is used. Confirm whether URL starts by file:///.

(S)

サポートしていない URL プロトコルです。

(O)

file:/// で始まっているか確認してください。

KMBJ00077-E

The URL for the file is invalid. Provide correct URL.

(S)

ファイルの URL が不正です。

(O)

URL の内容を見直してください。

KMBJ00078-E

Logical connection to database is lost. Operation cannot be performed.

(S)

現在のオブジェクトからデータベースへの論理的な接続が失われました。操作は完了できません。

(O)

文書空間に再接続してください。

KMBJ00079-E

The specified version does not exist. Reconsider the specified version Id.

(S)

指定されたバージョンは存在しません。

(O)

正しいバージョンを指定して、操作を再度実行してください。

KMBJ00080-E

There is no usable service process. Contact System Administrator.

(S)

使用できるサービスプロセスがありません。

(O)

時間をおいて、再度実行してください。

KMBJ00083-E

An operation violating the restrictions is been performed. Contact System Administrator.

- (S) 制約違反の操作です。
- (O) この操作は実行できません。

KMBJ00085-E

Object is not initialized. Re-execute after initialization.

- (S) オブジェクトが初期化されていません。
- (O) 初期化を実行してください。

KMBJ00086-E

This operation is prohibited by DMA agreement.

- (S) DMA 規約で禁止されている操作です。
- (O) この操作は実行できません。

KMBJ00087-E

The start index is invalid. Provide proper start index.

- (S) 開始インデックスが不正です。
- (O) 正しい開始インデックスを指定してください。

KMBJ00088-E

The block size cannot be zero. Provide proper block size.

- (S) ブロックサイズに 0 は指定できません。
- (O) 正しいブロックサイズを指定してください。

KMBJ00089-E

The Fetch Count has gone out of range.

(S)

fetch カウントが許容範囲を超えています。

(O)

-

KMBJ00090-E

Cannot unlink VT Fix / Float links.

(S)

構成管理型のコンテインメント (FIX モード又は FLOATING モード) を解除しようとした。

(O)

-

KMBJ00091-E

Mime Map Manager Initialization failed.

(S)

レンディション定義ファイルの読み込み中に、エラーが発生しました。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KMBJ00092-E

Value specified by the user for property is invalid.

(S)

不正な値のプロパティが指定されました。

(O)

正しい値を指定してください。

KMBJ00093-E

The document is already checked out.

(S)

文書は、既にチェックアウトされています。

(O)

文書をチェックインしてから、操作してください。

KMBJ00094-E

Specified Fetch Count is invalid. Specify a valid Fetch Count.

- (S)
指定されたフェッチカウントが不正です。
- (O)
正しいフェッチカウントを指定してください。

KMBJ00095-E

Document space object is already bound with the specified public ACL.

- (S)
文書空間オブジェクトは、指定されたパブリック ACL で、既にバインドされています。
- (O)
指定したパブリック ACL を見直してください。

KMBJ00096-E

Specified edmSQL statement is incorrect, Reason: %1. Specify valid edmSQL statement.

- (S)
指定された edmSQL 文が不正です。理由：%1
- (O)
正しい edmSQL 文を指定してください。

KMBJ00097-E

Specified '?' parameter value is incorrect. Specify valid '?' parameter value.

- (S)
指定された ? パラメタの値が不正です。
- (O)
正しい ? パラメタの値を指定してください。

KMBJ00098-E

The number of parameters specified as argument is greater than the number of '?' parameters specified in edmSQL statement. Specify valid parameter.

- (S)
引数で指定されたパラメタ数は、edmSQL 文で指定された ? パラメタ数より大きいです。
- (O)
正しいパラメタを指定して下さい。

KMBJ00099-E

The value of max fetch count is invalid. Provide a valid value.

- (S)
フェッチカウントの最大値が不正です。

2. メッセージ

(O)

正しい値を指定してください。

KMBJ00100-E

An error occurred during Loading of the library

(S)

XML ライブラリのローディング処理に失敗しました。

(O)

XML 管理機能に必要な環境変数が設定されているかどうかを、確認してください。

KMBJ00101-E

The value specified for ACL mode is invalid. Provide a valid value.

(S)

不正なアクセス制御モードが指定されました。

(O)

正しいアクセス制御モードを指定してください。

KMBJ00102-E

Specified comparator is invalid. Provide valid comparator value.

(S)

指定されたコンパレータの値が不正です。

(O)

正しい値を指定してください。

KMBJ00103-E

Specified cursor level is invalid. Provide a valid value.

(S)

指定されたカーソルの位置が不正です。

(O)

正しい値を指定してください。

KMBJ00104-E

The operation performed is invalid for the specified object. The resultset object is unnamed, and hence, column name cannot be specified.

(S)

名前なし検索結果集合に対して、カラム名が指定されました。

(O)

カラム名ではなく、列インデクスで指定してください。

KMBJ00105-E

A null element is specified in the public ACL list.

- (S)
パブリック ACL のリストの要素の 1 つ以上が、null です。
- (O)
正しい要素を指定してください。

KMBJ00106-E

Order specified in GetVersionObjList() is invalid. Specify correct order.

- (S)
GetVersionObjList メソッドに不正な order が指定されました。
- (O)
正しい order を指定してください。

KMBJ00107-E

The length of specified class name exceeds 255 characters.

- (S)
指定されたクラス名が、255 文字を超えています。
- (O)
255 文字以下のクラス名を指定してください。

KMBJ00108-E

Specified rendition type is empty. Provide a valid value.

- (S)
空のレンディションタイプが指定されました。
- (O)
正しい値を指定してください。

KMBJ00109-E

The specified object type passed in the element of '?' parameter list is invalid. Specify a valid object type.

- (S)
不正なオブジェクトタイプが、?パラメタリストの要素に指定されました。
- (O)
正しいオブジェクトタイプを指定してください。

KMBJ00110-E

The specified index path is invalid. Specify a valid index path.

2. メッセージ

- (S) 不正なインデックスのパスが指定されました。
- (O) 正しいインデックスパスを指定してください。

KMBJ00111-E

Specified value(s) passed in the list is/are invalid. Specify valid values.

- (S) リストに不正な値が指定されました。
- (O) リストに正しい値を指定してください。

KMBJ00112-E

Specified folder object %1 is invalid. Specify a valid folder object.

- (S) 不正なフォルダオブジェクトが指定されました。
- (O) 正しいフォルダオブジェクトを指定してください。

KMBJ00113-E

The DbjUploadInfo passed is null. Specify a valid DbjUploadInfo.

- (S) 文書のアップロード情報 (DbjUploadInfo) として null が指定されました。
- (O) 正しい文書のアップロード情報を指定してください。

KMBJ00114-E

The specified file path(s) is/are invalid. Specify valid path.

- (S) 不正なパスが指定されました。
- (O) 正しいパスを指定してください。

KMBJ00115-E

IllegalArgument is specified(Method=%1).

- (S) 指定された引数が不正です。
- (O)

正しい引数を指定してください。

KMBJ00116-E

Logout method has not been called, so the Logout method has been called automatically.

(S)

logout メソッドが実行されていなかったため、logout メソッドが実行されました。

(O)

-

KMBJ00117-E

Specified Link ID is invalid. Specify valid link ID.

(S)

不正なリンク識別子が指定されました。

(O)

正しいリンク識別子を指定してください。

KMBJ00118-E

File "mime.properties" was not found.

(S)

レンディション定義ファイル (mime.properties) が、見つかりません。

(O)

レンディション定義ファイル (mime.properties) を作成してください。

KMBJ00119-E

The file path specified in DbjUploadInfo is null. Specify a valid file path.

(S)

DbjUploadInfo インタフェースのメソッドに不正なパスが指定されました。

(O)

正しいパスを指定してください。

KMBJ00120-E

The specified operation has failed.

(S)

指定された操作が失敗しました。次のどれかの要因が考えられます。

1. 操作が失敗しました。
2. メタ情報ファイルが不正です。
3. メモリ不足で実行できません。

(O)

2. メッセージ

次のどれかの方法で対処してください。

1. 時間を置いて再度実行するか、処理を見直してください。
2. メタ情報ファイルを見直してください。
3. メモリを増設してください。又はメモリを大量に消費しているアプリケーションを停止させて、処理を再実行してください。

KMBJ00122-E

The restricted time is exceeded.

(S)

制限時間を超えました。

(O)

ログインしてから、再実行してください。

KMBJ00123-E

The XML definition information is invalid.

(S)

XML の定義情報が不正です。

(O)

XML の定義情報を見直してください。

KMBJ00124-E

Error occurred in connected server(Major Code : %1 and Minor Code:%2).

(S)

DocumentBroker でエラーが発生しました。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KMBJ00125-E

Error occurred in the contents operation.

(S)

コンテンツの操作でエラーが発生しました。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KMBJ00126-E

The state of contents and the object is mismatched.

(S)

オブジェクトとコンテンツの状態が不整合です。

- (O)
システム管理者に連絡してください。

KMBJ00127-E

Specified reference type is invalid. Specify the valid reference type.

- (S)
リファレンス種別が不正です。
- (O)
正しいリファレンス種別を指定してください。

KMBJ00128-E

The path used as the base of relative path is not specified. Specify the path used as the base of relative path.

- (S)
相対パスのベースとなるコンテンツ格納先ベースパスが設定されていません。
- (O)
コンテンツ格納先ベースパスを設定してください。

KMBJ00129-E

Specified content type is invalid. Specify valid document object.

- (S)
指定したコンテンツ種別が不正です。
- (O)
正しいコンテンツ種別の文書オブジェクトを指定してください。

KMBJ00132-E

The contents of current version is not found.

- (S)
カレントバージョンのコンテンツが存在しません。
- (O)
システム管理者に連絡してください。

KMBJ00133-E

The contents is not registered.

- (S)
コンテンツが登録されていません。
- (O)
コンテンツを登録してから処理を行ってください。

KMBJ00134-E

The start index is invalid. Provide start index of 0 or more.

- (S)
開始インデクスが不正です。
- (O)
0 以上の開始インデクスを指定してください。

KMBJ00200-E

An error occurred in the database.Error information=%1,Reason code=%2

- (S)
データベースでエラーが発生しました。
- (O)
エラーメッセージをもとに、エラーの原因を取り除いてください。

KMBJ00201-E

Meta-information is not registered.

- (S)
メタ情報が登録されていません。
- (O)
dbjinitmeta コマンドを実行してメタ情報を登録してください。

KMBJ00202-E

The execution environment is invalid.

HostName=%1,Directory=%2

- (S)
実行環境が不正です。
- (O)
環境変数 DOCB_CONF_DIR を見直してください。
または、dbjregenvid コマンドで実行環境を登録・更新してください。

KMBJ00203-E

Numbering failed OIID.Reason=%1

- (S)
OIID の採番に失敗しました。
- (O)
保守員に連絡してください。

KMBJ00204-E

The number of objects that can be created has reached the maximum.

- (S)
作成できるオブジェクトの最大数に達しました。
- (O)
保守員に連絡してください。

KMBJ00205-E

An error occurred in the LDAP directory server.

- (S)
LDAP ディレクトリサーバでエラーが発生しました。
- (O)
保守員に連絡してください。

KMBJ00206-E

An error occurred in the Loading AuthModule. Reason=%1

- (S)
ユーザ認証モジュールのローディングでエラーが発生しました。
- (O)
エラー発生要因をもとに、エラーの原因を取り除いてください。

KMBJ00207-E

User Permission Initialization failed. Reason=%1

- (S)
ユーザ権限定義ファイルの読み込みでエラーが発生しました。
- (O)
エラーエントリを修正してください。

KMBJ00208-E

Specified Document space Id is invalid.

- (S)
文書空間識別子が不正です。
- (O)
-

KMBJ00209-E

DataSource could not be acquired.

2. メッセージ

(S)

データソースの取得に失敗しました。

(O)

-

KMBJ00210-E

File %1 over Max Size. Specify a valid file.

(S)

指定したファイルのサイズ上限値を超えました。

(O)

-

KMBJ00211-E

The character string could not be encoded.

(S)

文字列のエンコードに失敗しました。

(O)

文字コードの設定が正しいか確認してください。

KMBJ00300-E

The Requested objects is not found. Specify valid objects.

(S)

要求されたオブジェクトが見つかりません。

(O)

存在するオブジェクトを指定してください。

KMBJ00301-E

Specified Class Name is Invalid. Specify valid Class Name.

(S)

指定されたクラス名が不正です。

(O)

有効なクラス名を指定してください。

KMBJ00302-E

The document is not checked out.

(S)

文書はチェックアウトされていません。

(O)

文書のチェックアウトを取り消すことはできません。

KMBJ00303-E

Specified Class Type is Invalid. Specify valid Class Type.

- (S) 指定されたクラスタイプが不正です。
- (O) 有効なクラスタイプを指定してください。

KMBJ00304-E

Specified file path(s) is/are invalid. Reason=%1. Specify valid path.

- (S) 不正なパスが指定されました。理由：%1
- (O) 正しいパスを指定してください。

KMBJ00305-E

Specified Order is invalid. Specify valid Order.

- (S) 不正なソート順が指定されました。
- (O) 正しいソート順を指定してください。

KMBJ00306-E

Specified Version ID is invalid. Specify valid Version ID.

- (S) 不正なバージョン ID が指定されました。
- (O) 正しいバージョン ID を指定してください。

KMBJ00308-E

Specified Property Name %1 is invalid. Specify valid Property Name.

- (S) 指定されたプロパティ名 %1 が不正です。
- (O) 有効なプロパティ名を指定してください。

KMBJ00309-E

Specified Property value is invalid. Specify valid Property value in %1.

- (S)
指定されたプロパティの値が不正です。
- (O)
%1 に有効なプロパティの値を指定してください。

KMBJ00310-E

Specified argument (%1) is invalid. Specify valid argument value.

- (S)
指定された引数 (%1) が不正です。
- (O)
有効な値を指定してください。

KMBJ00311-E

The contents for conversion does not exist.

- (S)
指定されたオブジェクトには、変換対象のコンテンツが存在しません。
- (O)
存在するレンディション、または変換元として指定したコンテンツ格納先が存在するオブジェクトを指定してください。

KMBJ00312-E

The rendition of which conversion is required existed.

- (S)
変換要求中のレンディションが存在しません。
- (O)
レンディション変換を行ったあと、再度実行してください。

KMBJ00313-E

The rendition of the conversion error existed.

- (S)
変換エラーのレンディションが存在しました。
- (O)
変換エラーの状態をなくしたあと、再度実行してください。

KMBJ00314-E

The file operation has failed.operation=%1,target=%2.

(S)

ファイル操作に失敗しました。操作：%1，対象：%2

(O)

エラーの原因を取り除いて再実行してください。

KMBJ20001-I

%1 start.

(S)

開始します。

(O)

-

KMBJ20002-I

%1 ended.

(S)

正常に終了しました。

(O)

-

KMBJ20003-E

%1 failed.

(S)

異常終了しました。

(O)

-

KMBJ20004-E

An error occurred during a read from file.

File name=%1

Error information=%2

(S)

ファイルのオープンに失敗しました。

(O)

エラーメッセージをもとに、エラーの原因を取り除いてください。

KMBJ20005-E

A database error occurred.

Error information=%1

Reason code=%2

(S)

データベースエラーが発生しました。

(O)

エラーメッセージをもとに、エラーの原因を取り除いてください。

KMBJ20006-E

Invalid environment variable.

environment variable=%1

reason code=%2

(S)

環境変数が不正です。

(O)

要因コードをもとに、環境変数が適切に設定されているか確認してください。

KMBJ20007-E

Property not found.

file=%1

property=%2

(S)

プロパティが見つかりません。

(O)

プロパティを指定してください。

KMBJ20009-E

Invalid property.

file=%1

property=%2

(S)

プロパティの記述形式が不正です。

(O)

エラーメッセージをもとに、エラーの原因を取り除いてください。

KMBJ20010-E

Meta information is registered.

- (S)
メタ情報が登録済みです。
- (O)
メタ情報を削除してください。

KMBJ20011-E

Has not JDBC driver.

driver name=%1

- (S)
JDBC ドライバが見つかりません。
- (O)
エラーメッセージをもとに、エラーの原因を取り除いてください。

KMBJ20013-E

This command cannot be executed because another command is being executed.

- (S)
他のコマンドが実行中のためコマンドを実行できません。
- (O)
ほかのコマンドの処理が終了してから、処理を再度実行してください。

KMBJ20014-E

An error occurred during a write to file.

File name=%1

Error information=%2

- (S)
ファイルの出力に失敗しました。
- (O)
エラーメッセージをもとに、エラーの原因を取り除いてください。

KMBJ20015-E

Table does not exist.

Table name=%1

- (S)
テーブルが存在していません。
- (O)

2. メッセージ

テーブルを作成してください。

KMBJ20016-E

Unexpected Exception has happened.

Error information=%1

(S)

予期しないエラーが発生しました。

(O)

エラーメッセージをもとに、エラーの原因を取り除いてください。

KMBJ20017-E

The execution environment has already been registered.

(S)

すでに実行環境が登録されています。

(O)

実行環境を更新または削除してから再実行してください。

KMBJ20018-E

The meta-information has already been Initialized in the other execution environment.

(S)

他の実行環境でメタ情報の初期化が行われています。

(O)

実行環境を更新または削除してから再実行してください。

KMBJ20019-E

Failed to get the HostName.

(S)

ホスト名を取得できません。

(O)

エラーメッセージをもとに、エラーの原因を取り除いてください。

KMBJ20020-E

The class name is invalid.

(S)

クラス名の指定形式が不正です。

(O)

指定内容を見直し、再実行してください。

KMBJ20021-E

The property name is invalid.

- (S)
プロパティ名の指定形式が不正です。
- (O)
指定内容を見直し，再実行してください。

KMBJ20022-E

An error occurred during the making of the directory.

Directory name=%1

- (S)
ディレクトリの作成に失敗しました。
- (O)
エラーメッセージをもとに，エラーの原因を取り除いてください。

KMBJ20100-E

Required fields are not specified.

File name=%1

Line number=%2

Column=%3"

- (S)
必須項目が指定されていません。
- (O)
指定内容を見直し，再実行してください。

KMBJ20101-E

The class name is invalid.

File name=%1

Line number=%2

Column=%3

- (S)
クラス名の指定形式が不正です。
- (O)
指定内容を見直し，再実行してください。

KMBJ20102-E

A class name with the same name already exists.

2. メッセージ

Class name=%1

File name=%2

Line number=%3

(S)

クラス名が重複しています。

(O)

指定内容を見直し、再実行してください。

KMBJ20103-E

The format of the GUID value is invalid.

File name=%1

Line number=%2

Column=%3

(S)

GUID 形式ではありません。

(O)

指定内容を見直し、再実行してください。

KMBJ20104-E

The GUID value must not be duplicated.

File name=%1

Line number=%2

Column=%3

(S)

GUID 値が重複しています。

(O)

指定内容を見直し、再実行してください。

KMBJ20105-E

An unspecifiable super class name is specified.

File name=%1

Line number=%2

Column=%3

(S)

指定できないスーパークラス名を指定しています。

(O)

指定内容を見直し、再実行してください。

KMBJ20106-E

The property is invalid.

File name=%1

Line number=%2

Column=%3

(S)

プロパティ名の指定形式が不正です。

(O)

指定内容を見直し、再実行してください。

KMBJ20107-E

A property with the same name already exists in the specified class.

Property name=%1

File name=%2

Line number=%3

(S)

プロパティ名が重複しています。

(O)

指定内容を見直し、再実行してください。

KMBJ20108-E

The property (Data type) is incorrectly specified.

File name=%1

Line number=%2

Column=%3

(S)

不正なデータ型が指定されています。

(O)

指定内容を見直し、再実行してください。

KMBJ20109-E

"The property (Default value) is incorrectly specified.

File name=%1

Line number=%2

Column=%3"

(S)

プロパティのデフォルト値が不正です。

2. メッセージ

(O)

指定内容を見直し、再実行してください。

KMBJ20110-E

"The maximum length of a string is set as zero, or exceeds the limit of the database system.

File name=%1

Line number=%2

Column=%3"

(S)

文字列の最大長が不正です。

(O)

指定内容を見直し、再実行してください。

KMBJ20111-E

"Specify a subclass of the edmClass_Struct class.

File name=%1

Line number=%2

Column=%3"

(S)

edmClass_Struct クラスのサブクラスが指定されていません。

(O)

指定内容を見直し、再実行してください。

KMBJ20112-E

The maximum number of elements of a property defined with the VariableArray type is not specified.

File name=%1

Line number=%2

Column=%3

(S)

繰り返し列の最大要素数が指定されていません。

(O)

指定内容を見直し、再実行してください。

KMBJ20113-E

The maximum number of elements of a property defined with the VariableArray type is invalid.

File name=%1

Line number=%2

Column=%3

- (S)
繰り返し列の最大要素数の指定値が不正です。
- (O)
指定内容を見直し，再実行してください。

KMBJ20114-E

The length of the subclass name exceeds.

File name=%1

Line number=%2

Column=%3

Size=%4

- (S)
クラス名の長さが指定可能値を超えています。
- (O)
指定内容を見直し，再実行してください。

KMBJ20115-E

The length of the property name exceeds.

File name=%1

Line number=%2

Column=%3

Size=%4

- (S)
プロパティ名の長さが指定可能値を超えています。
- (O)
指定内容を見直し，再実行してください。

KMBJ20116-E

The specified class does not exist in the database.

Class name=%1

File name=%2

Line number=%3

- (S)
クラスが存在しません。
- (O)
指定内容を見直し，再実行してください。

KMBJ20117-E

The specified property does not exist in the database.

Property name=%1

File name=%2

Line number=%3

(S)

プロパティが存在しません。

(O)

指定内容を見直し、再実行してください。

KMBJ20118-E

The name of a class that cannot add a property is specified.

Class name=%1

File name=%2

Line number=%3

(S)

プロパティを追加できないクラスです。

(O)

指定内容を見直し、再実行してください。

KMBJ20119-E

The property cannot be specified for the specified class.

Property name=%1

File name=%2

Line number=%3

(S)

クラスに追加できないプロパティです。

(O)

指定内容を見直し、再実行してください。

KMBJ20120-E

The property for the full-text search or a conceptual search has already been specified for the specified class.

File name=%1

Line number=%2

(S)

指定したクラスは既に全文検索又は概念検索用のプロパティが存在しています。

(O)

指定内容を見直し，再実行してください。

KMBJ20121-E

The unused property class exists.

Property name=%1

(S)

使用していないプロパティがあります。

(O)

指定内容を見直し，再実行してください。

KMBJ20122-E

Meta-information is not registered.

(S)

メタ情報が登録されていません。

(O)

メタの初期登録 (dbjinitmeta) を行ってから再実行してください。

KMBJ20123-E

The specified subclass already exists.

Class name=%1

File name=%2

Line number=%3

(S)

指定したサブクラスは既にあります。

(O)

指定内容を見直し，再実行してください。

KMBJ20124-E

"The specified property already exists.

Property name=%1

File name=%2

Line number=%3"

(S)

指定したプロパティは既にあります。

(O)

指定内容を見直し，再実行してください。

KMBJ20125-E

Specify property for a class that has the full-text search function or a conceptual search function.

Class name=%1

Property Name=%2

(S)

全文検索機能付きクラス又は概念検索機能付きクラス用のプロパティを指定してください。

(O)

指定内容を見直し、再実行してください。

KMBJ20126-E

The number of column is wrong.

File name=%1

Line number=%2

(S)

指定したカラム数が不正です。

(O)

指定内容を見直し、再実行してください。

KMBJ20127-E

There is not a file in the directory path specified. Directory path=%1

(S)

定義情報ファイルが指定されていません。

(O)

ディレクトリを見直し、または定義情報ファイルを作成ください。

KMBJ20128-E

There is no data in files.

(S)

定義情報ファイルにデータがありません。

(O)

定義情報ファイル内容を見直し、再実行してください。

KMBJ20200-I

The DDL file was output.

(S)

データベース定義文を出力しました。

(O)

-

KMBJ20201-E

The DDL file could not be output.

- (S) データベース定義文の出力に失敗しました。
- (O) -

KMBJ20202-W

The number of properties defined in the index key exceeds the limit of the database system. File name=%1, Line number=%2

- (S) インデクス情報ファイル内でインデクスのキーに定義したプロパティの数が、データベース管理システムの制限値を超えています。
- (O) 指定内容を見直し、必要に応じて再実行してください。

KMBJ20203-W

The specified class is not defined. Class name=%1, File name=%2, Line number=%3

- (S) インデクス情報ファイル内で指定したクラスが定義されていません。
- (O) 指定内容を見直し、必要に応じて再実行してください。

KMBJ20204-W

The specified property does not exist in the specified class.

Property name=%1

File name=%2

Line number=%3

- (S) インデクス情報ファイル内で指定したプロパティが定義されていません。
- (O) 指定内容を見直し、必要に応じて再実行してください。

KMBJ20205-W

An index with the same key organization is already defined.

File name=%1

Line number=%2

- (S)

2. メッセージ

インデクス情報ファイル内で指定したキーの構成が同一のインデクスが既に定義されています。

(O)

指定内容を見直し、必要に応じて再実行してください。

KMBJ20206-W

The index name is invalid.

File name=%1

Line number=%2

(S)

インデクス情報ファイル内で指定したインデクス名が不正です。

(O)

指定内容を見直し、必要に応じて再実行してください。

KMBJ20207-W

The index name is duplicated.

File name=%1

Line number=%2

(S)

インデクス情報ファイル内で指定したインデクス名が重複しています。

(O)

指定内容を見直し、必要に応じて再実行してください。

KMBJ20208-W

An index cannot be defined for the specified property.

Property name=%1

File name=%2

Line number=%3

(S)

インデクス情報ファイル内で指定したプロパティにインデクスは定義できません。

(O)

指定内容を見直し、必要に応じて再実行してください。

KMBJ20209-W

The name of the RD area for LOB is duplicated.

File name=%1

Line number=%2

RD area name=%3

(S)

RD エリア情報ファイル内で指定した LOB 用 RD エリア名が重複しています。

(O)

指定内容を見直し、必要に応じて再実行してください。

KMBJ20210-W

A column is not specified.

File name=%1

Line number=%2

Column=%3

(S)

指定されていないカラムがあります。

(O)

指定内容を見直し、必要に応じて再実行してください。

KMBJ20211-W

Syntax is invalid.

File name=%1

Line number=%2

(S)

文法が不正です。

(O)

指定内容を見直し、必要に応じて再実行してください。

KMBJ20212-I

The default area name was set.

Area name=%1

Class name=%2

(S)

デフォルトの RD エリアを設定します。

(O)

指定内容を見直し、必要に応じて再実行してください。

KMBJ20213-I

The default area name was set.

Area name=%1

Class name=%2

Property name=%3

2. メッセージ

(S)

デフォルトの RD エリアを設定します。

(O)

指定内容を見直し，必要に応じて再実行してください。

KMBJ20214-W

The category is empty or invalid.

File name=%1

Line number=%2

(S)

種別：省略または不正な値の場合警告メッセージです。

(O)

エラーメッセージをもとに，エラーの原因を取り除いてください。

KMBJ20215-W

The RD area name is empty or invalid.

File name=%1

Line number=%2

(S)

RD エリア名：省略または不正な値の場合警告メッセージです。

(O)

エラーメッセージをもとに，エラーの原因を取り除いてください。

KMBJ20216-W

The class name is empty.

File name=%1

Line number=%2

Column=%3

(S)

クラス名が指定されていません。

(O)

エラーメッセージをもとに，エラーの原因を取り除いてください。

KMBJ20217-W

The appointed Class's super class name is "edmClass_Struct".

Class name=%1

File name=%2

Line number=%3

- (S)
スーパークラスが edmClass_Struct であるクラスを指定できません。
- (O)
エラーメッセージをもとに、エラーの原因を取り除いてください。

KMBJ20218-W

The class name is not "dmaClass_ContentTransfer".

Class name=%1

File name=%2

Line number=%3

- (S)
dmaClass_ContentTransfer クラス以外を指定しています。
- (O)
エラーメッセージをもとに、エラーの原因を取り除いてください。

KMBJ20219-W

The specified class does not exist in the database.

Class name=%1

File name=%2

Line number=%3

- (S)
EDMS_META_CLASSDESC にクラスが存在しません。
- (O)
指定内容を見直し、必要に応じて再実行してください。

KMBJ20220-W

There is no relationship between the specified class and property.

Class name=%1

Property name=%2

File name=%3

Line number=%4

- (S)
このプロパティは該当クラスに存在しません。
- (O)
指定内容を見直し、必要に応じて再実行してください。

KMBJ20221-W

The row number of the property name exceeds.

2. メッセージ

File name=%1

Line number=%2

(S)

プロパティ名の最大列数が最大値を超えています。

(O)

エラーメッセージをもとに、エラーの原因を取り除いてください。

KMBJ20222-W

The column is invalid.

File name=%1

Line number=%2

Column=%3

(S)

コラムの値が「UNIQUE」,「EXCEPT」,「ASC」,「DESC」と「'''」以外です。

(O)

エラーメッセージをもとに、エラーの原因を取り除いてください。

KMBJ20223-W

Required fields are not specified.

File name=%1

Line number=%2

Column=%3

(S)

必須項目が指定されていません。

(O)

エラーメッセージをもとに、エラーの原因を取り除いてください。

KMBJ20224-W

The number of Class's systemIndex exceeds the limit value of VV.

Class name=%1

(S)

クラスのシステムインデックス数が制限値(VV)を超えています。

(O)

-

KMBJ20225-W

The property name is empty.

File name=%1

Line number=%2

Column=%3

(S)

プロパティ名が指定されていません。

(O)

-

KMBJ20226-W

The same record already exist in the RDArea Information File.

File name=%1

Line number=%2

(S)

RD エリア情報ファイル内に同じ構成のレコードが存在します。

(O)

-

KMBJ20227-W

The line's Property Names are duplicate.

File name=%1

Line number=%2

(S)

インデクス情報ファイル内で本行指定したプロパティ名が重複しています。

(O)

-

KMBJ20228-W

The appointed Property's type is FreeWord or Variable.

Property name=%1

File name=%2

Line number=%3

(S)

インデクス情報ファイルに、FreeWord 型あるいは Variable 型のプロパティが指定できません。

(O)

-

KMBJ20229-W

An unspecifiable class name is specified.

File name=%1,

2. メッセージ

Class name=%2,

Line number=%3,

Column=%4

(S)

指定できないクラス名を指定しています。

(O)

-

KMBJ20300-E

The subclass specified in the argument has not been registered in the database.

Class name=%1

(S)

引数で指定したサブクラスが、データベースに登録されていません。

(O)

クラス(%1)があるか確認してください。

KMBJ20301-E

The specified property does not exist in the specified class.

(S)

指定したクラスに、指定したプロパティはありません。

(O)

指定したクラスに、指定したプロパティがあるか確認してください。

KMBJ20302-E

The specified class is referred by the VariableArray type property.

(S)

指定したクラスは、VariableArray 型プロパティで参照されています。

(O)

VariableArray 型プロパティを削除した後、サブクラスを削除してください。

KMBJ20400-I

Registered a execution-environment.

Id=%1

(S)

実行環境を登録しました。

実行環境識別子 :%1

(O)

-

KMBJ20401-I

Updated a execution-environment.

Id=%1

(S)

実行環境を更新しました。
実行環境識別子 :%1

(O)

-

KMBJ20402-I

A list of the execution environment.

(S)

実行環境の一覧を出力します。

(O)

-

KMBJ20403-E

The option is invalid.

Option=%1

(S)

オプションの値が不正です。

(O)

指定内容を見直し、再実行してください。

KMBJ20404-E

The execution-environment id specified in the -i option has already been registered.

Id=%1

(S)

指定した実行環境識別子は登録済みです。

(O)

指定内容を見直し、再実行してください。

KMBJ20405-E

Execution environment path name has already been registered.

(S)

実行環境ディレクトリが登録済みです。

(O)

実行環境を更新または削除してから再実行してください。

KMBJ20407-E

Document space ID differs from meta-information.

(S)

実行環境の文書空間 ID がメタ情報と異なります。

(O)

docspace.properties ファイルの DocSpaceId エントリをメタの初期登録 (dbjinitmeta) 実行時の文書空間 ID と同じにしてください。

KMBJ20408-E

The specified execution environment is not registered.

(S)

指定した実行環境識別子は登録されていません。

(O)

指定内容を見直し、再実行してください。

KMBJ20409-E

The execution environment has not been registered.

(S)

実行環境が登録されていません。

(O)

実行環境を登録した環境で実行してください。

KMBJ20410-E

The execution-environment id cannot register because the id exceeds the system limit.

(S)

割り当て可能な実行環境識別子がありません。

(O)

使用していない実行環境を削除してから再実行してください。

KMBJ20411-E

The execution environment cannot delete because the execution-environment id is 0.

(S)

この実行環境は実行環境識別子が 0 のため、削除できません。

(O)

-

KMBJ20412-I

The execution environment was deleted.

- (S) 実行環境を削除しました。
- (O) -

KMBJ20413-E

The execution-environment id is not 0.

- (S) この実行環境は実行環境識別子が 0 ではありません。
- (O) 実行環境識別子が 0 の環境で実行してください。

KMBJ20502-E

The command cannot be executed for the current environment.

- (S) 現在の環境ではこのコマンドは実行できません。
- (O) 環境を確認してください。

KMBJ20503-E

A conflict was detected in the meta-information.

Section Name=%1,

Property Name=%2

- (S) メタ情報の内容に矛盾を検知しました。
- (O) 保守員に連絡してください。

KMBJ20600-E

The specified property does not exist in the database.

- (S) 指定したプロパティはデータベースにありません。
- (O) 指定したプロパティがあるか確認してください。

KMBJ20601-E

The data type of specified property is invalid.

- (S)
指定したプロパティのデータ型が不正です。
- (O)
指定したプロパティを確認してください。

KMBJ20602-E

The maximum length of a string is invalid.

- (S)
文字列の最大長が不正です。
- (O)
現在の文字列の最大長より大きい値を指定してください。

KMBJ20603-E

The maximum number of elements is invalid.

- (S)
繰り返し列の最大要素数が不正です。
- (O)
現在の繰り返し列の最大要素数より大きい値を指定してください。

3

edmSQL のメッセージ

この章では、edmSQL の構文解析エラー情報について説明します。

3.1 edmSQL の構文解析エラー情報

3.1 edmSQL の構文解析エラー情報

ここでは、edmSQL を使用した検索で構文解析エラーになった場合に出力されるエラーの内容について説明します。

なお、edmSQL の構文解析でエラーが発生した場合、メソッドの戻り値は次の値になります。

```
major_code : ERR_DBR  
minor_code : ERR_EQL_BAD_STATEMENT
```

3.1.1 記述形式

このマニュアルでの構文解析エラーの記述形式について説明します。

<メッセージタイプ> <メッセージ ID >

メッセージテキスト

パラメタの内容

埋め込みパラメタがある場合の、パラメタの説明です。埋め込みパラメタは、% で表記します。

説明

エラーの内容と対処方法についての説明です。

3.1.2 構文解析エラー

Error 1001

トークン "%1"(%2 バイト目) で構文エラーを検出しました。

A syntax error was detected in the token "%1" (byte number %2).

パラメタの内容

- %1 : 構文解析エラーを検出したトークンの文字列
- %2 : %1 のトークンが出現する入力 edmSQL 文の先頭からの位置 (バイト数)

説明

入力した edmSQL 文で、表示されたトークンまたはそれよりも前に出現するトークンが、構文規則に合っていません。

正しい構文でトークンを指定してください。

3.1.3 字句解析エラー

Error 2002

数値で始まる文字列 "%1"(%2 バイト目) は、数値定数の形式に対して不正です。

The character string "%1" (byte number %2) beginning with a numeric has an invalid format for a numeric constant.

パラメタの内容

- %1 : 指定した数値定数の先頭からの内容 (64 バイトまで出力)
- %2 : %1 の数値定数が出現する入力 edmSQL 文の先頭からの位置 (バイト数)

説明

数値として指定できない文字を指定しています。例えば、次のような指定をしています。

- 識別子を数字で開始しています。
- 数値定数と識別子を区切らずに並べて指定しています。

内容を確認して、次の方法で対処してください。

- 整数定数の形式に従って修正してください。
- 数字で始まる識別子は、先頭をアルファベットにするか、区切られた識別子の形式に修正してください。
- 区切り文字を入れて、数値定数と分離して指定してください。

Error 2003

記号 "%1" (%2 バイト目) は未サポートです。

Symbol "%1" (byte number %2) is not supported.

パラメタの内容

- %1: 記号文字列
- %2: %1 の記号が出現する入力 edmSQL 文の先頭からの位置 (バイト数)

説明

指定した記号は、使用できません。この記号は、edmSQL の文法の演算子などとして予約されている記号ですが、構文では使用できません。

Error 2004

アンダースコア "_" (%1 バイト目) は、識別子の先頭や演算子などの記号としては使用できません。

An underscore (byte number %1) cannot be used at the beginning of an ID or as a symbol of an operator etc.

パラメタの内容

- %1: アンダースコアが出現する入力 edmSQL 文の先頭からの位置 (バイト数)

説明

アンダースコアは、識別子の先頭や演算子の記号としては使用できません。

Error 2005

文字列定数の終端を検知する前に文が終了しました。指定内容 "%1" (%2 バイト目)

The statement ended before the end of a character string constant was detected. Specification "%1" (byte number %2).

パラメタの内容

- %1: 指定した文字列定数 (64 バイトまで出力)
- %2: %1 の文字列定数が出現する入力 edmSQL 文の先頭からの位置 (バイト数)

説明

文字列定数の終端記号である「'」が検知される前に、edmSQL 文が終了しました。文字列定数の終端に「'」を挿入してください。

Error 2006

区切られた識別子の終端を検知する前に文が終了しました。指定内容 "%1" (%2 バイト目)

The statement ended before the end of a delimited ID was detected. Specification "%1" (byte number %2).

パラメタの内容

- %1: 区切られた識別子 (64 バイトまで出力)

- %2 : %1 の区切られた識別子が出現する入力 edmSQL 文の先頭からの位置 (バイト数)

説明

区切られた識別子の終端記号である「"」が検知される前に、edmSQL 文が終了しました。
区切られた識別子の終端に、「"」を挿入してください。

Error 2007

文字 "%1" (%2 バイト目) は、文字列定数以外では使用できません。

Character "%1" (byte number %2) can be used in character string constants only.

パラメタの内容

- %1 : 指定した文字
- %2 : %1 で指定した文字が出現する入力 edmSQL 文の先頭からの位置 (バイト数)

説明

指定した文字は、edmSQL 文で使用できる文字ではありません。

3.1.4 意味解析エラー

(1) プロパティ表現に関するエラー

Error 3004

プロパティ "%1"(%2 バイト目) は、Object 型のプロパティであるため、選択項目に指定できません。

The property "%1" (byte number %2) cannot be specified as a selection item because the basic unit is an Object-type property.

パラメタの内容

- %1 : プロパティ名
- %2 : %1 のプロパティ名が出現する入力 edmSQL 文の先頭からの位置 (バイト数)

説明

Object 型のプロパティ (オブジェクトリファレンス) を直接選択項目に指定することはできません。
Object 型のプロパティは、oiidstr 関数の引数として選択項目に指定してください。これによって
Object 型のプロパティを OIID 文字列に変換した値が取得できます。

Error 3005

プロパティ "%1"(%2 バイト目) は、特殊なプロパティであるため、文法で規定した位置以外には指定できません。

The property "%1" (byte number %2) is a special property, so it can be specified at a syntax-defined position only.

パラメタの内容

- %1 : プロパティ名
- %2 : %1 のプロパティ名が出現する入力 edmSQL 文の先頭からの位置 (バイト数)

説明

全文検索インデクス用プロパティなどの特殊な意味を持つプロパティは、edmSQL の文法で規定された位置以外には使用できません。
文法で規定されている位置を確認して、正しい位置に指定してください。

Error 3006

プロパティ "%1"(%2 バイト目) の修飾子に対応するクラス名又は関連名が見つかりません。

A class or correlation name is missing for the qualifier of the property "%1" (byte number %2).

パラメタの内容

- %1: プロパティ名
- %2: %1 のプロパティ名が出現する入力 edmSQL 文の先頭からの位置 (バイト数)

説明

プロパティの修飾子として指定したクラス名または関連名が、該当するプロパティが存在するシンボル空間に見つかりません。FROM 句に指定したクラス名や関連名と異なっているおそれがあります。指定したプロパティを修飾するために参照できる FROM 句を確認して、修飾子として指定したクラス名や関連名を修正してください。または、FROM 句に指定したクラス名や関連名を修正してください。

Error 3007

プロパティの修飾子 "%1"(%2 バイト目) に対応するクラス名又は関連名が見つかりません。

A class or correlation name is missing for the qualifier "%1" (byte number %2) of the property.

パラメタの内容

- %1: クラス名または関連名
- %2: %1 のクラス名または関連名が出現する入力 edmSQL 文の先頭からの位置 (バイト数)

説明

プロパティの修飾子 (クラス名または関連名) に対応するクラス名または関連名が、FROM 句の指定から見つかりません。
FROM 句に指定したクラス名もしくは関連名、または指定したプロパティ修飾子を確認して、修正してください。

Error 3008

プロパティ "%1"(%2 バイト目) は、修飾子 "%3" に対応したクラスにありません。

The property "%1" (byte number %2) does not exist in the class for the qualifier "%3".

パラメタの内容

- %1: プロパティ名
- %2: %1 のプロパティ名が出現する入力 edmSQL 文の先頭からの位置 (バイト数)
- %3: クラス名または関連名

説明

プロパティの修飾子として指定したクラス名または関連名に対応するクラスに、該当するプロパティが定義されていません。
プロパティ名または指定したクラスが不正なおそれがあります。
メッセージに修飾子 (%3) として空文字列が出力された場合は、入力 edmSQL 文で修飾子を省略している場合です。この場合は、FROM 句に指定したただ一つのクラスに、指定したプロパティが存在しないこととなります。
メタ情報を確認して、正しいプロパティ名または正しいクラスを指定してください。必要に応じてプロパティを定義してください。

Error 3009

プロパティの修飾子 "%1"(%2 バイト目) の指定があいまいです。

The specification of the qualifier "%1" (byte number %2) of the property is ambiguous.

パラメタの内容

- %1 : クラス名または関連名
- %2 : %1 のクラス名または関連名が出現する入力 edmSQL 文の先頭からの位置 (バイト数)

説明

プロパティのクラスを明示するための修飾子 (クラス名または関連名) があいまいで、FROM 句に指定されたクラスを特定できません。

FROM 句に指定したクラス、またはプロパティに指定した修飾子を確認して、修正してください。

(2) VariableArray 型プロパティの要素参照、フィールド参照に関するエラー

Error 3101

VariableArray 型プロパティ "%1"(%2 バイト目) の要素に、プロパティ "%3" はありません。

The property "%3" is not an element of a Variable array property "%1" (byte number %2).

パラメタの内容

- %1 : VariableArray 型プロパティのプロパティ名
- %2 : %1 のプロパティ名が出現する入力 edmSQL 文の先頭からの位置 (バイト数)
- %3 : フィールド参照を指定した VariableArray 型プロパティの要素のプロパティ名

説明

VariableArray 型プロパティの要素に対してフィールド参照を指定した場合に、その要素を定義するクラスにフィールド参照で指定したプロパティが存在しません。

フィールド参照をしたプロパティ名を確認して、正しく修正してください。必要に応じてメタ情報を修正してください。

Error 3104

プロパティ "%1" (%2 バイト目) は、VariableArray 型プロパティでないため、要素参照に指定できません。

The property "%1" (byte number %2) cannot be specified for element reference because it is not a Variable array property.

パラメタの内容

- %1 : プロパティ名
- %2 : %1 のプロパティ名が出現する入力 edmSQL 文の先頭からの位置 (バイト数)

説明

フィールド参照を指定したプロパティが、VariableArray 型プロパティではありません。フィールド参照は VariableArray 型プロパティだけに指定できます。

プロパティ名を確認して、修正してください。

Error 3105

プロパティ "%1" (%2 バイト目) は、VariableArray 型プロパティであるため、副問い合わせの選択項目に指定できません。

The property "%1" (byte number %2) cannot be specified as a selection item of a sub-query because it is a Variable array property.

パラメタの内容

- %1 : VariableArray 型プロパティのプロパティ名
- %2 : %1 のプロパティ名が出現する入力 edmSQL 文の先頭からの位置 (バイト数)

説明

副問い合わせの選択項目に、VariableArray 型プロパティは指定できません。

Error 3106

プロパティ "%1"(%2 バイト目) は、VariableArray 型プロパティであるため、検索対象の結合条件に指定できません。

The property "%1" (byte number %2) cannot be specified as a join condition for searching because it is a Variable array property.

パラメタの内容

- %1 : VariableArray 型プロパティのプロパティ名
- %2 : %1 のプロパティ名が出現する入力 edmSQL 文の先頭からの位置 (バイト数)

説明

ON 条件に VariableArray 型プロパティを指定することはできません。

(3) 関数 (ルーチン起動, 数値関数, 集合関数) に関するエラー

Error 3201

%1 関数 (%2 バイト目) は、使用可能な関数として定義していないため、edmSQL 文に指定できません。

The function %1 (byte number %2) is not defined as a usable function so it cannot be specified for the edmSQL statement.

パラメタの内容

- %1 : 関数名
- %2 : %1 の関数名が出現する入力 edmSQL 文の先頭からの位置 (バイト数)

説明

edmSQL の文法で規定されていない関数名を指定しました。

指定した関数の関数名を確認して、修正してください。

Error 3202

%1 関数 (%2 バイト目) は、文法で規定した位置以外には指定できません。

The function %1 (byte number %2) can be specified in a syntax-defined position only.

パラメタの内容

- %1 : 関数名
- %2 : %1 の関数名が出現する入力 edmSQL 文の先頭からの位置 (バイト数)

説明

関数を規定された位置以外に指定しました。

指定した関数の属性 (選択可能または検索可能) を確認して、選択可能であれば選択項目に指定してください。検索可能であれば検索条件に指定してください。

Error 3203

%1 関数 (%2 バイト目) の引数の数が不正です。

The number of arguments of the function %1 (byte number %2) is invalid.

パラメタの内容

- %1 : 関数名
- %2 : %1 の関数名が出現する入力 edmSQL 文の先頭からの位置 (バイト数)

説明

関数に指定した引数の個数が不正です。
関数に指定できる引数の個数を確認して、修正してください。

Error 3204

%1 関数 (%2 バイト目) の第 %3 引数のデータ型が不正です。

The data type of argument %3 of the function %1 (byte number %2) is invalid.

パラメタの内容

- %1 : 関数名
- %2 : %1 の関数名が出現する入力 edmSQL 文の先頭からの位置 (バイト数)
- %3 : 引数の出現番号 (1 以上)

説明

関数で、該当する引数に指定したデータ型が不正です。
関数の引数に指定できるデータ型を確認して、修正してください。

Error 3205

%1 関数の第 %2 引数には、文法で規定した特殊なプロパティだけが指定できます。

Only a syntax-defined special property can be specified for argument %2 of the function %1.

パラメタの内容

- %1 : 関数名
- %2 : 引数の出現番号 (1 以上)

説明

全文検索や概念検索などの関数の、edmSQL の文法で規定した特殊なプロパティだけが指定できる引数に、そのプロパティ以外を指定しています。
引数に指定した内容を確認して、修正してください。

Error 3206

%1 関数 (%2 バイト目) の第 %3 引数には、文法で規定した特殊なプロパティだけが指定できます。

Only a syntax-defined special property can be specified for argument %3 of the function %1 (byte number %2).

パラメタの内容

- %1 : 関数名
- %2 : %1 の関数名が出現する入力 edmSQL 文の先頭からの位置 (バイト数)
- %3 : 引数の出現番号 (1 以上)

説明

全文検索や概念検索などの関数の、edmSQL の文法で規定した特殊なプロパティだけが指定できる引数に、そのプロパティ以外を指定しています。
引数に指定した内容を確認して、修正してください。

Error 3207

%1 関数 (%2 バイト目) の第 %3 引数には、文字列定数又は ? パラメタだけが指定できます。

Only character string constant or the ? parameter can be specified for argument %3 of the function %1 (byte number %2).

パラメタの内容

- %1 : 関数名
- %2 : %1 の関数名が出現する入力 edmSQL 文の先頭からの位置 (バイト数)
- %3 : 引数の出現番号 (1 以上)

説明

値または ? パラメタだけが指定できる関数の引数に、値または ? パラメタ以外を指定しています。引数に指定した内容を確認して、修正してください。

Error 3208

%1 関数 (%2 バイト目) の第 %3 引数には、? パラメタだけが指定できます。

Only the ? parameter can be specified for argument %3 of the function %1 (byte number %2).

パラメタの内容

- %1 : 関数名
- %2 : %1 の関数名が出現する入力 edmSQL 文の先頭からの位置 (バイト数)
- %3 : 引数の出現番号 (1 以上)

説明

? パラメタだけが指定できる関数の引数に、? パラメタ以外を指定しています。引数に指定した内容を確認して、修正してください。

Error 3209

%1 関数の第 %2 引数には、VariableArray 型プロパティ "%3"(%4 バイト目) を指定できません。

The Variable array property "%3" (byte number %4) cannot be specified for argument %2 of the function %1.

パラメタの内容

- %1 : 関数名
- %2 : 引数の出現番号 (1 以上)
- %3 : VariableArray 型プロパティのプロパティ名
- %4 : %3 のプロパティ名が出現する入力 edmSQL 文の先頭からの位置 (バイト数)

説明

関数で、該当する引数には指定できない VariableArray 型プロパティを指定しています。関数の引数に指定できる内容を確認して、修正してください。

Error 3210

%1 関数 (%2 バイト目) の第 %3 引数には、VariableArray 型プロパティの要素を指定できません。

An element of a Variable array property cannot be specified for argument %3 of the function %1 (byte number %2).

パラメタの内容

- %1 : 関数名
- %2 : %1 の関数名が出現する入力 edmSQL 文の先頭からの位置 (バイト数)
- %3 : 引数の出現番号 (1 以上)

説明

関数呼び出しで、該当する引数には指定できない VariableArray 型プロパティの要素のプロパティを指定しています。

関数の引数に指定できる内容を確認して、修正してください。

Error 3211

ooidstr 関数の第 %1 引数には、Object 型のプロパティだけが指定できます。

Only the Object-type property can be specified for argument %1 of the ooidstr function.

パラメタの内容

- %1 : 引数の出現番号 (1 以上)

説明

ooidstr 関数の引数には、Object 型のプロパティ以外を指定することができません。

指定した引数の内容を確認して、修正してください。

Error 3212

%1 関数 (%2 バイト目) の第 %3 引数には、OID 文字列だけが指定できます。

Only the OID character string can be specified for argument %3 of the function %1 (byte number %2).

パラメタの内容

- %1 : 関数名
- %2 : %1 の関数名が出現する入力 edmSQL 文の先頭からの位置 (バイト数)
- %3 : 引数の出現番号 (1 以上)

説明

関数で、OID 文字列だけが指定できる引数に、OID 文字列以外を指定しています。

引数に指定した内容を確認して、修正してください。

Error 3213

%1 関数 (%2 バイト目) の第 %3 引数の OID 文字列の長さが不正です。

The length of the OID character string of argument %3 of the function %1 (byte number %2) is invalid.

パラメタの内容

- %1 : 関数名
- %2 : %1 の関数名が出現する入力 edmSQL 文の先頭からの位置 (バイト数)
- %3 : 引数の出現番号 (1 以上)

説明

関数で、OID 文字列を指定する引数に、不正な長さの OID 文字列を指定しています。

引数に指定した OID 文字列を確認して、修正してください。

Error 3214

%1 関数 (%2 バイト目) の第 %3 引数の ? パラメタに、AS<データ型指定>がありません。

The AS <data-type-specification> is missing in the ? parameter of argument %3 of the function %1 (byte number %2).

パラメタの内容

- %1 : 関数名
- %2 : %1 の関数名が出現する入力 edmSQL 文の先頭からの位置 (バイト数)

- %3 : 引数の出現番号 (1 以上)

説明

ルーチンの起動に指定する関数の引数に ? パラメタを指定する場合は、必ず AS< データ型指定 > を指定して、? パラメタのデータ型を明確にしてください。

指定した引数のデータ型を確認して、? パラメタに対応する AS< データ型指定 > を指定してください。

Error 3215

関数の引数の ? パラメタ以外に、AS< データ型指定 > (%1 バイト目) があります。

The AS <data-type-specification> (byte number %1) exists in a position other than the ? parameter of the function arguments.

パラメタの内容

- %1 : AS< データ型指定 > が出現する入力 edmSQL 文の先頭からの位置 (バイト数)

説明

関数の引数の ? パラメタ以外に、AS< データ型指定 > を指定しています。AS< データ型指定 > は、関数の引数の ? パラメタに対してだけ指定できます。

AS< データ型指定 > を削除してください。

Error 3216

COUNT 関数 (%1 バイト目) は、アクセス制御が有効であるため、主問い合わせの選択項目に指定できません。

The COUNT function (byte number %1) cannot be specified as a selection item of a main query because of the effect of access control.

パラメタの内容

- %1 : 関数名が出現する入力 edmSQL 文の先頭からの位置 (バイト数)

説明

アクセス制御が有効な場合、COUNT 関数は指定できません。

COUNT 関数を指定する場合は、アクセス制御を無効にしてください。

Error 3217

%1 関数 (%2 バイト目) は、副問い合わせの選択項目に指定できません。

The function %1 (byte number %2) cannot be specified as a selection item of a sub-query.

パラメタの内容

- %1 : 関数名
- %2 : %1 の関数名が出現する入力 edmSQL 文の先頭からの位置 (バイト数)

説明

副問い合わせ中に指定できない関数を、副問い合わせ中に指定しています。

指定した関数の仕様を確認して、修正してください。

Error 3218

%1 関数 (%2 バイト目) の第 %3 引数には、数値だけが指定できます。

Only the numerical value can be specified for argument %3 of the function %1 (byte number %2).

パラメタの内容

3. edmSQL のメッセージ

- %1 : 関数名
- %2 : %1 の関数名が出現する入力 edmSQL 文の先頭からの位置 (バイト数)
- %3 : 引数の出現番号 (1 以上)

説明

関数で、数値だけが指定できる引数に、数値以外を指定しています。
関数に指定した引数の内容を確認して、修正してください。

(4) 値式 (四則演算, 符号, 文字列連結), 論理演算子に関するエラー

Error 3302

演算子 "%1"(%2 バイト目) の被演算子のデータ型が不正です。

The operand data type of the operator "%1" (byte number %2) is invalid.

パラメタの内容

- %1 : 演算子
- %2 : %1 の演算子が出現する入力 edmSQL 文の先頭からの位置 (バイト数)

説明

被演算子同士、または被演算子と演算子が要求するデータ型が一致しません。
例えば、文字列と数値の比較を指定した場合などに発生するエラーです。
演算子が要求するデータ型と被演算子のデータ型を確認して、修正してください。

(5) 集合指定子 (DISTINCT) に関するエラー

Error 3401

重複排除 "DISTINCT"(%1 バイト目) は、アクセス制御が有効であるため、主問い合わせの SELECT 句に指定できません。

The duplicate exclusion DISTINCT (byte number %1) cannot be specified for main-query SELECT because of the effect of access control.

パラメタの内容

- %1 : "DISTINCT" が出現する入力 edmSQL 文の先頭からの位置 (バイト数)

説明

アクセス制御が有効な場合の検索は、暗黙にオブジェクトが識別される検索になるため、重複排除は実行できません。
重複排除 "DISTINCT" 指定を削除してください。または、アクセス制御を無効にして、重複排除を指定してください。

Error 3402

VariableArray 型プロパティ "%1"(%2 バイト目) は、重複排除 "DISTINCT" を SELECT 句に指定しているため、選択項目に指定できません。

The Variable array property "%1" (byte number %2) cannot be specified as a selection item because the duplicate exclusion DISTINCT is specified for the SELECT clause.

パラメタの内容

- %1 : VariableArray 型プロパティのプロパティ名
- %2 : %1 のプロパティ名が出現する入力 edmSQL 文の先頭からの位置 (バイト数)

説明

VariableArray 型プロパティが選択項目に指定されている場合、SELECT 句の集合指定子に重複排除 "DISTINCT" は指定できません。

重複排除 "DISTINCT" は指定しないでください。または、VariableArray 型プロパティを選択項目から削除してください。

Error 3403

extracts 関数 (%1 バイト目) は、重複排除 "DISTINCT" を SELECT 句に指定しているため、選択項目に指定できません。

The extracts function (byte number %1) cannot be specified as a selection item because the duplicate exclusion DISTINCT is specified for the SELECT clause.

パラメタの内容

- %1 : extracts 関数が出現する入力 edmSQL 文の先頭からの位置 (バイト数)

説明

extracts 関数は、重複排除できないデータ型の値を返却するため、この返却値に対する重複排除は実行できません。

重複排除 "DISTINCT" の指定を削除してください。

(6) クラス (クラス表現, 関連名) に関するエラー

Error 3501

クラス "%1"(%2 バイト目) は、文書空間にないため、検索対象に指定できません。

The class "%1" (byte number %2) cannot be specified to be searched because it is not in the document space.

パラメタの内容

- %1 : クラス名
- %2 : %1 のクラス名が出現する入力 edmSQL 文の先頭からの位置 (バイト数)

説明

検索対象として指定したクラスが文書空間に存在しません。クラス名が不正なおそれがあります。文書空間に定義しているクラス名を確認して、正しいクラスを指定してください。

Error 3503

クラス名又は関連名 "%1"(%2 バイト目) が重複しています。

The class or correlation name "%1" (byte number %2) is duplicated.

パラメタの内容

- %1 : 重複しているクラス名または関連名
- %2 : %1 のクラス名または関連名が出現する入力 edmSQL 文の先頭からの位置 (バイト数)

説明

FROM 句の指定で、クラス名と関連名、または関連名同士を同じ名前指定しています。または、同一のクラスを結合する場合に、関連名で明確に区別していません。

それぞれの検索対象が明確に区別できるように、関連名を付けてください。

Error 3504

クラス "%1"(%2 バイト目) に指定した関連名が重複しています。

The correlation name specified for the class "%1" (byte number %2) is duplicated.

パラメタの内容

- %1 : クラス名
- %2 : %1 のクラス名が出現する入力 edmSQL 文の先頭からの位置 (バイト数)

説明

プロパティのクラスを明示するための修飾子 (クラス名または関連名) が, FROM 句の指定から見つかりません。

FROM 句のクラスの指定またはプロパティに指定したプロパティ修飾子を確認して, 修正してください。

(7) 結合種別に関するエラー

Error 3601

一つの FROM 句には, 二種類以上の結合種別は指定できないため, 結合種別 "%1"(%2 バイト目) は指定できません。

The join type "%1" (byte number %2) cannot be specified because two or more join types cannot be specified for one FROM clause.

パラメタの内容

- %1 : 結合種別
- %2 : %1 の結合種別が出現する入力 edmSQL 文の先頭からの位置 (バイト数)

説明

LEFT OUTER 結合と INNER 結合は, 同一の FROM 句に混在できません。結合種別を統一してください。

(8) 述語 (比較述語, 論理述語, In 述語, Like 述語 (Like および Xlike), Null 述語, Exist 述語) に関するエラー

Error 3701

論理述語 "%1"(%2 バイト目) は, 検索対象の結合条件に指定できません。

The logical predicate "%1" (byte number %2) cannot be specified as a join condition of a search target.

パラメタの内容

- %1 : 論理述語
- %2 : %1 の論理述語が出現する入力 edmSQL 文の先頭からの位置 (バイト数)

説明

指定した論理述語は, ON 条件には指定できません。論理述語には ON 条件に指定できないものがあります。

論理述語の制限事項を確認して, 修正してください。

Error 3703

比較述語 "%1"(%2 バイト目) の被演算子のデータ型が不正です。

The data type of an operand of the comparison predicate "%1" (byte number %2) is invalid.

パラメタの内容

- %1 : 比較述語
- %2 : %1 の比較述語が出現する入力 edmSQL 文の先頭からの位置 (バイト数)

説明

被演算子同士，または被演算子と述語が要求するデータ型が一致しません。
述語が要求するデータ型と被演算子のデータ型を確認して，修正してください。

Error 3704

論理述語 "%1"(%2 バイト目) の被演算子のデータ型が不正です。

The data type of an operand of the logical predicate "%1" (byte number %2) is invalid.

パラメタの内容

- %1：論理述語
- %2：%1 の論理述語が出現する入力 edmSQL 文の先頭からの位置 (バイト数)

説明

被演算子同士，または被演算子と述語が要求するデータ型が一致しません。
述語が要求するデータ型と被演算子のデータ型を確認して，修正してください。

Error 3705

述語 "%1"(%2 バイト目) の被演算子のデータ型が不正です。

The data type of an operand of the predicate "%1" (byte number %2) is invalid.

パラメタの内容

- %1：述語
- %2：%1 の述語が出現する入力 edmSQL 文の先頭からの位置 (バイト数)

説明

被演算子同士，または被演算子と述語が要求するデータ型が一致しません。
述語が要求するデータ型と被演算子のデータ型を確認して，修正してください。

Error 3706

一つの In 述語には，同じデータ型の値しか指定できないため，%1 番目の値 (%2 バイト目) は指定できません。

The number %1 value (byte number %2) cannot be specified for one In predicate because only a value of the same data type can be specified.

パラメタの内容

- %1：In 述語の列挙された項目の出現番号
- %2：%1 の項目が出現する入力 edmSQL 文の先頭からの位置 (バイト数)

説明

In 述語で列挙する項目として，異なるデータ型の項目を指定しています。
In 述語では，同じデータ型の項目だけを列挙して指定できます。
指定した項目のデータ型を確認して，修正してください。

Error 3707

Null 述語 (%1 バイト目) の値式には，プロパティだけが指定できます。

Only properties can be specified for the expression of a Null predicate (byte number %1).

パラメタの内容

- %1：Null 述語が出現する入力 edmSQL 文の先頭からの位置 (バイト数)

説明

Null 述語にプロパティ以外の値式を指定しています。Null 述語の値式には，プロパティだけが指定

できます。
Null 述語の内容を確認して、修正してください。

Error 3708

比較述語 "%1"(%2 バイト目) の両辺の被演算子には、VariableArray 型プロパティの要素を同時に指定できません。

Elements of a Variable array property cannot be simultaneously specified for the operands on both sides of the comparison predicate "%1" (byte number %2).

パラメタの内容

- %1 : 比較述語
- %2 : %1 の比較述語が出現する入力 edmSQL 文の先頭からの位置 (バイト数)

説明

VariableArray 型プロパティのフィールド参照同士を、比較述語で比較することはできません。

Error 3709

論理述語 "%1"(%2 バイト目) の値式には、論理型を戻り値とする関数だけが指定できます。

Only a function whose return value is a logical type can be specified for the expression of the logical predicate "%1" (byte number %2).

パラメタの内容

- %1 : 論理述語
- %2 : %1 の論理述語が出現する入力 edmSQL 文の先頭からの位置 (バイト数)

説明

論理述語の値式には、論理型を戻り値とする関数以外は指定できません。

Error 3710

アスタリスク (*) (%1 バイト目) は、Exists 述語の副問い合わせ以外の選択項目に指定できません。

An asterisk (byte number %1) can be specified only for a selection item of the sub-query of the Exists predicate.

パラメタの内容

- %1 : * が出現する入力 edmSQL 文の先頭からの位置 (バイト数)

説明

選択項目に「*」(アスタリスク) を指定できるのは、Exists 述語の副問い合わせの選択項目だけです。

(9) データ操作 (ソート, ソート種別) に関するエラー

Error 3801

ソートキー "%1"(%2 バイト目) に対応する選択項目が見つかりません。

A selection item is missing for the sort key "%1" (byte number %2).

パラメタの内容

- %1 : ソートキー (プロパティ名または数値)
- %2 : %1 のソートキーが出現する入力 edmSQL 文の先頭からの位置 (バイト数)

説明

指定したソートキーに対応する選択項目がありません。

選択項目を確認して修正してください。

Error 3802

ソートキー "%1"(%2 バイト目) に対応した選択項目は、ソート可能でないため、ソートできません。

A selection item for the sort key "%1" (byte number %2) cannot be sorted.

パラメタの内容

- %1：ソートキー（プロパティ名または数値）
- %2：%1 のソートキーが出現する入力 edmSQL 文の先頭からの位置（バイト数）

説明

ソートキーとして指定した選択項目はソートに使用できません。ソートに使用できる選択項目のデータ型は、整数型および文字列型だけです。

選択項目のデータ型を確認して、修正してください。必要に応じてメタ情報を修正してください。

(10) グループ操作に関するエラー

Error 3901

アクセス制御が有効であるため、GROUP BY 句 (%1 バイト目) は指定できません。

The GROUP BY clause (byte number %1) cannot be specified because of the effect of access control.

パラメタの内容

- %1：GROUP BY 句が出現する入力 edmSQL 文の先頭からの位置（バイト数）

説明

アクセス制御が有効な場合、GROUP BY 句は指定できません。

GROUP BY 句を指定する場合は、アクセス制御を無効にしてください。

Error 3902

GROUP BY 句で指定したプロパティでないため、選択項目 "%1"(%2 バイト目) は指定できません。

The selection item "%1"(byte number %2) cannot be specified. Because the property isn't specified in GROUP BY clause.

パラメタの内容

- %1：選択項目
- %2：%1 の選択項目が出現する入力 edmSQL 文の先頭からの位置（バイト数）

説明

GROUP BY 句を用いた問い合わせ時には、選択項目は GROUP BY 句で指定したプロパティに限定されます。

GROUP BY 句で指定したプロパティを、選択項目に指定してください。

Error 3903

プロパティ "%1"(%2 バイト目) は GROUP BY 句では指定できません。

The property "%1" (byte number %2) cannot be specified in GROUP BY clause.

パラメタの内容

- %1：値式
- %2：%1 の値式が出現する入力 edmSQL 文の先頭からの位置（バイト数）

説明

GROUP BY 句ではオブジェクト型、バイナリ型のプロパティ、特殊なプロパティ、関数を指定できません。

オブジェクト型、バイナリ型のプロパティ、特殊なプロパティ、関数を値式から削除してください。

Error 3904

プロパティ "%1"(%2 バイト目) が重複しています。

The value expression "%1" (byte number %2) is duplicated.

パラメタの内容

- %1: プロパティ
- %2: %1 のプロパティが出現する入力 edmSQL 文の先頭からの位置 (バイト数)

説明

同一のプロパティを GROUP BY 句に指定することはできません。

GROUP BY 句から重複しているプロパティを削除してください。

Error 3906

述語 "%1"(%2 バイト目) は HAVING 句に直接指定できません。

The predicate "%1" (byte number %2) cannot be specified in HAVING clause.

パラメタの内容

- %1: 述語
- %2: %1 の述語が出現する入力 edmSQL 文の先頭からの位置 (バイト数)

説明

NULL 述語および LIKE 述語は HAVING 句に直接指定できません。

HAVING 句の探索条件から、直接指定している NULL 述語および LIKE 述語を削除してください。

(11) 副問い合わせに関するエラー

Error 4001

副問い合わせでは複数の選択項目を指定できないため、選択項目 "%1"(%2 バイト目) は指定できません。

The selection item "%1" (byte number %2) cannot be specified. Because multi selection items cannot be specified in the sub-query.

パラメタの内容

- %1: 選択項目
- %2: 2 番目の選択項目の edmSQL 文の先頭からの位置 (バイト数)

説明

副問い合わせには複数の選択項目を指定できません。副問い合わせに複数の選択項目を指定していないか、見直してください。

3.1.5 そのほかのエラー

Error 9001

構文解析用のスタックがオーバーフローしました。

The stack for syntax analysis has overflowed.

説明

構文解析用の作業領域が制限値に達しました。

または、制限値に達してはませんが、データベースの制限値を超えました。

edmSQL 文が複雑過ぎるため、構文が解析できません。単純な構文に変更してください。

構文が複雑になる要素としては、次のようなものが考えられます。

- 副問い合わせのネストが深い
- 演算子の入れ子指定が多い
- 演算順序を指定する括弧の数が多

複雑な構文の edmSQL 文を指定すると、検索処理性能も低下するおそれがあります。

単純な構文にするためには、次のような点を考慮してください。

- 演算順序を考慮して、式をまとめる括弧を外す
- 処理が再帰しないようにする

次に、複雑な edmSQL 文を単純にする例を示します。

複雑な edmSQL 文の例

```
SELECT myProp_Foo
FROM myClass
WHERE ((myProp_Foo1 = 1)
      AND (myProp_Foo2 = 2))
      AND (myProp_Foo3 = 3)
```

単純な edmSQL 文に置き換えた例

```
SELECT myProp_Foo
FROM myClass
WHERE myProp_Foo1 = 1
      AND myProp_Foo2 = 2
      AND myProp_Foo3 = 3
```

このように、不要な括弧を外して構文を単純にすることで、スタックの消費量は少なくできます。

付録

付録 A このマニュアルの参考情報

このマニュアルを読むに当たっての参考情報を示します。

付録 A.1 関連マニュアル

このマニュアルの関連マニュアルを次に示します。必要に応じてお読みください。

なお、本文に記載のマニュアル名称は、「uCosminexus DocumentBroker」を「DocumentBroker」と表記しています。

DocumentBroker のマニュアル

- uCosminexus DocumentBroker Version 5 システム導入・運用ガイド (3021-3-401)
DocumentBroker を使用する環境を定義、管理および運用する場合に参照してください。
- uCosminexus DocumentBroker Version 5 概説 (3021-3-402)
DocumentBroker の機能について知りたい場合に参照してください。
- uCosminexus DocumentBroker Version 5 リファレンス API (3021-3-403)
DocumentBroker クラスライブラリの詳細、インターフェースの詳細、およびメソッドの文法について知りたい場合に参照してください。
- uCosminexus DocumentBroker Version 5 サンプル Web アプリケーション (3021-3-404)
DocumentBroker Developer が提供しているサンプル Web アプリケーションの機能と使用方法、およびサンプル Web アプリケーションを参考にした Web アプリケーションの開発方法について知りたい場合に参照してください。
- uCosminexus DocumentBroker Text Search Index Loader Version 3 (3020-3-U72)
DocumentBroker Text Search Index Loader の機能、環境設定、およびコマンドの文法について知りたい場合に参照してください。

付録 A.2 このマニュアルでの表記

このマニュアルでは、製品名称を次に示す略称で表記しています。

製品名称	略称
uCosminexus Application Server Version 9	Cosminexus
uCosminexus Developer Version 9	
uCosminexus DocumentBroker Developer Version 5	DocumentBroker
uCosminexus DocumentBroker Platform Version 5	
uCosminexus DocumentBroker Runtime Library Version 5	
uCosminexus DocumentBroker Developer Version 5	DocumentBroker Developer
uCosminexus DocumentBroker Platform Version 5	DocumentBroker Platform
uCosminexus DocumentBroker Runtime Library Version 5	DocumentBroker Runtime Library
uCosminexus DocumentBroker Text Search Index Loader Version 3	DocumentBroker Text Search Index Loader
Red Hat Enterprise Linux 6 (x86_64)	Linux

このほか、このマニュアルでは、次に示す表記方法を使用しています。

- Linux を UNIX と表記することがあります。
- それぞれの製品について個別に説明する場合は、製品名称を使用します。

- Oracle Directory Server Enterprise Edition , および Active Directory を合わせて LDAP 対応のディレクトリサービスと表記することがあります。

付録 A.3 DocumentBroker のマニュアルで使用する略語

DocumentBroker のマニュアルで使用する英略語を次に示します。

英略語	英字での表記
ACL	Access Control List
API	Application Programming Interface
DMA	Document Management Alliance
GUID	Globally Unique Identifier
ID	Identifier
LDAP	Lightweight Directory Access Protocol
MIME	Multipurpose Internet Mail Extensions
OIID	Object Instance Identifier
OS	Operating System
SQL	Structured Query Language
URL	Uniform Resource Locator
XML	Extensible Markup Language

付録 A.4 KB (キロバイト) などの単位表記について

1KB (キロバイト), 1MB (メガバイト), 1GB (ギガバイト), 1TB (テラバイト) はそれぞれ $1,024$ バイト, $1,024^2$ バイト, $1,024^3$ バイト, $1,024^4$ バイトです。

索引

E

edmSQL の構文解析エラー情報 58

K

KMBJ00001-E	6	KMBJ00045-E	14
KMBJ00002-E	6	KMBJ00046-E	14
KMBJ00003-E	6	KMBJ00047-E	14
KMBJ00004-E	6	KMBJ00048-E	14
KMBJ00005-E	6	KMBJ00049-E	14
KMBJ00006-E	7	KMBJ00050-E	14
KMBJ00007-E	7	KMBJ00051-E	15
KMBJ00008-E	7	KMBJ00052-E	15
KMBJ00010-E	7	KMBJ00053-E	15
KMBJ00012-E	7	KMBJ00054-E	15
KMBJ00013-E	8	KMBJ00055-E	15
KMBJ00014-E	8	KMBJ00056-E	16
KMBJ00015-E	8	KMBJ00057-E	16
KMBJ00016-E	8	KMBJ00058-E	16
KMBJ00017-E	8	KMBJ00059-E	16
KMBJ00018-E	8	KMBJ00060-E	16
KMBJ00019-E	9	KMBJ00061-E	17
KMBJ00020-E	9	KMBJ00062-E	17
KMBJ00021-E	9	KMBJ00068-E	17
KMBJ00022-E	9	KMBJ00069-E	17
KMBJ00023-E	9	KMBJ00070-E	17
KMBJ00024-E	10	KMBJ00071-E	17
KMBJ00025-E	10	KMBJ00072-E	18
KMBJ00026-E	10	KMBJ00077-E	18
KMBJ00027-E	10	KMBJ00078-E	18
KMBJ00028-E	10	KMBJ00079-E	18
KMBJ00029-E	11	KMBJ00080-E	18
KMBJ00030-E	11	KMBJ00083-E	19
KMBJ00031-E	11	KMBJ00085-E	19
KMBJ00032-E	11	KMBJ00086-E	19
KMBJ00033-E	11	KMBJ00087-E	19
KMBJ00034-E	11	KMBJ00088-E	19
KMBJ00035-E	12	KMBJ00089-E	20
KMBJ00036-E	12	KMBJ00090-E	20
KMBJ00037-E	12	KMBJ00091-E	20
KMBJ00038-E	12	KMBJ00092-E	20
KMBJ00039-E	12	KMBJ00093-E	20
KMBJ00040-E	13	KMBJ00094-E	20
KMBJ00041-E	13	KMBJ00095-E	21
KMBJ00042-E	13	KMBJ00096-E	21
KMBJ00043-E	13	KMBJ00097-E	21
KMBJ00044-E	13	KMBJ00098-E	21
		KMBJ00099-E	21
		KMBJ00100-E	22
		KMBJ00101-E	22
		KMBJ00102-E	22
		KMBJ00103-E	22

KMBJ00104-E	22	KMBJ00311-E	32
KMBJ00105-E	23	KMBJ00312-E	32
KMBJ00106-E	23	KMBJ00313-E	32
KMBJ00107-E	23	KMBJ00314-E	33
KMBJ00108-E	23	KMBJ20001-I	33
KMBJ00109-E	23	KMBJ20002-I	33
KMBJ00110-E	23	KMBJ20003-E	33
KMBJ00111-E	24	KMBJ20004-E	33
KMBJ00112-E	24	KMBJ20005-E	34
KMBJ00113-E	24	KMBJ20006-E	34
KMBJ00114-E	24	KMBJ20007-E	34
KMBJ00115-E	24	KMBJ20009-E	34
KMBJ00116-E	25	KMBJ20010-E	35
KMBJ00117-E	25	KMBJ20011-E	35
KMBJ00118-E	25	KMBJ20013-E	35
KMBJ00119-E	25	KMBJ20014-E	35
KMBJ00120-E	25	KMBJ20015-E	35
KMBJ00122-E	26	KMBJ20016-E	36
KMBJ00123-E	26	KMBJ20017-E	36
KMBJ00124-E	26	KMBJ20018-E	36
KMBJ00125-E	26	KMBJ20019-E	36
KMBJ00126-E	26	KMBJ20020-E	36
KMBJ00127-E	27	KMBJ20021-E	37
KMBJ00128-E	27	KMBJ20022-E	37
KMBJ00129-E	27	KMBJ20100-E	37
KMBJ00132-E	27	KMBJ20101-E	37
KMBJ00133-E	27	KMBJ20102-E	37
KMBJ00134-E	28	KMBJ20103-E	38
KMBJ00200-E	28	KMBJ20104-E	38
KMBJ00201-E	28	KMBJ20105-E	38
KMBJ00202-E	28	KMBJ20106-E	39
KMBJ00203-E	28	KMBJ20107-E	39
KMBJ00204-E	29	KMBJ20108-E	39
KMBJ00205-E	29	KMBJ20109-E	39
KMBJ00206-E	29	KMBJ20110-E	40
KMBJ00207-E	29	KMBJ20111-E	40
KMBJ00208-E	29	KMBJ20112-E	40
KMBJ00209-E	29	KMBJ20113-E	40
KMBJ00210-E	30	KMBJ20114-E	41
KMBJ00211-E	30	KMBJ20115-E	41
KMBJ00300-E	30	KMBJ20116-E	41
KMBJ00301-E	30	KMBJ20117-E	42
KMBJ00302-E	30	KMBJ20118-E	42
KMBJ00303-E	31	KMBJ20119-E	42
KMBJ00304-E	31	KMBJ20120-E	42
KMBJ00305-E	31	KMBJ20121-E	43
KMBJ00306-E	31	KMBJ20122-E	43
KMBJ00308-E	31	KMBJ20123-E	43
KMBJ00309-E	32	KMBJ20124-E	43
KMBJ00310-E	32	KMBJ20125-E	44

KMBJ20126-E 44
KMBJ20127-E 44
KMBJ20128-E 44
KMBJ20200-I 44
KMBJ20201-E 45
KMBJ20202-W 45
KMBJ20203-W 45
KMBJ20204-W 45
KMBJ20205-W 45
KMBJ20206-W 46
KMBJ20207-W 46
KMBJ20208-W 46
KMBJ20209-W 46
KMBJ20210-W 47
KMBJ20211-W 47
KMBJ20212-I 47
KMBJ20213-I 47
KMBJ20214-W 48
KMBJ20215-W 48
KMBJ20216-W 48
KMBJ20217-W 48
KMBJ20218-W 49
KMBJ20219-W 49
KMBJ20220-W 49
KMBJ20221-W 49
KMBJ20222-W 50
KMBJ20223-W 50
KMBJ20224-W 50
KMBJ20225-W 50
KMBJ20226-W 51
KMBJ20227-W 51
KMBJ20228-W 51
KMBJ20229-W 51
KMBJ20300-E 52
KMBJ20301-E 52
KMBJ20302-E 52
KMBJ20400-I 52
KMBJ20401-I 53
KMBJ20402-I 53
KMBJ20403-E 53
KMBJ20404-E 53
KMBJ20405-E 53
KMBJ20407-E 54
KMBJ20408-E 54
KMBJ20409-E 54
KMBJ20410-E 54
KMBJ20411-E 54
KMBJ20412-I 55
KMBJ20413-E 55
KMBJ20502-E 55

KMBJ20503-E 55
KMBJ20600-E 55
KMBJ20601-E 56
KMBJ20602-E 56
KMBJ20603-E 56

こ

コマンドプロンプト 2

と

トレースファイル 2

ひ

標準エラー出力 2

標準出力, コマンドプロンプト, 詳細エラーログファイルおよびトレースファイルに出力されるメッセージの出力形式 3

め

メッセージの記述形式 4

メッセージの出力形式 3

メッセージの出力先 2